

解答

一

- 問一 ① 均等 ② 博愛 ③ 冷〔める〕 ④ 貯金 ⑤ 画一
問二 ① エ ② ウ ③ イ ④ ア ⑤ エ
問三 ① イ ② ア ③ エ ④ ウ ⑤ ウ

二

- 問一 別の生きかたをふうじこめる生きかた〔だから。〕
問二 a ア b ウ
問三 I イ II ア III エ IV ウ
問四 ア 将来（未来） I 別のじぶん ウ 同一の存在 エ 〈わたし〉
問五 エ
問六 ア いままで イ ステージ
問七 ア 記憶 I 複数 ウ 確定した過去 エ 単一
問八 ア
問九 ウ

三

- 問一 エ
問二 イ
問三 ア 不和 イ 和解 ウ 材料
問四 ウ
問五 a ア b エ
問六 父と心が触れ合うことができた〔と感じたから。〕
問七 ア きゆうくつ イ 無理
問八 自分と父との不和
問九 エ
問十 イ

解説

二

- 問五 ——線部③の後にどのような状態か述べられています。『『幸福な老年とは、』で始まる一文から選択肢エが最も適当であることがわかります。
問九 ——線部⑧の直前に「わたしたちの『だれ』はむしろ、他人との関係のなかで配給される。」とあり、他人との関係が、アイデンティティのステージを複数設定してくれるということがわかります。選択肢ウがこれらのことを言い表しています。

三

- 問一 ——線部①の後にある「自分は停車場を」で始まる段落の内容から、自分と父の間にわだかまりがある様子が伝わってくるので、選択肢エが選べます。
問九 本文全体から、自分と父との不和は以前から続いていたものであり、周囲の人々も気かけ、前から和解しようとしていたことがわかります。今回自分は心から父親に対し愛情を感じ、無理なく和解できたことから、選択肢エが選べます。